

【令和6年度産業廃棄物処理助成事業】

漁業用ロープのリサイクルフロー構築を目的とした技術開発事業

株式会社鈴木商会

➤ 背景：

弊社は、国連が提唱する「持続可能な開発目標 (SDGs)」の主旨を踏まえた新たなリサイクルプロジェクトとして、道内の漁業者を悩ませる漁網(主としてナイロン漁網)に注目し、2022年6月から回収したナイロン廃網を再生ペレット化する事業を開始するなど、漁業関係団体と連携し、道内における漁業系廃棄物の減量・リサイクルに取り組んでいます。

北海道における漁業系廃棄物は概ね下表のとおりであり、特に漁業用ロープは錘として鉛が含まれており、リサイクルが難しく、現状はより基準の厳しい最終処分(遮断型)にまわらざるを得ない実態にあります。その為、漁港等にそのまま堆積されている状況です。

道内では概ね約150t/年が排出されると考えられ、処理困難性から漁港等にそのまま堆積されているものを含めると、リサイクルに回すべき対象量はさらに増加するものと予想され、漁業用ロープ(鉛付き)のリサイクルに関するニーズは高く、効果的なリサイクル技術の開発が期待されます。

➤ 目的：

今回の技術開発事業は、漁業用ロープ(鉛付き)の処理方法の確立に向けた技術的な課題の解決を目指すものです。具体的には、現状は最終処分されている漁業用ロープ(鉛付き)のリサイクルに必要な技術や手法を検証、技術開発し、廃棄物削減と漁業者の皆さまの負担軽減を目的とした道内循環の実現を目指します。

*ロープ解体分離試験の状況



➤ 実施内容：

- ・鉛付きロープ選別方法を開発し、作業時間及び裁断方法を検証する
- ・鉛付きロープ解体後の樹脂洗浄方法の開発
- ・漁業者への付着物の除去手法開発指導とマニュアル化
- ・効率的な収集運搬方法の検討
- ・回収した鉛、樹脂の流通経路の調査検証

以上